

日本アジアグループ、鹿児島県鹿屋市において 鹿屋ソーラーウェイ(ハーフメガ)開発へ

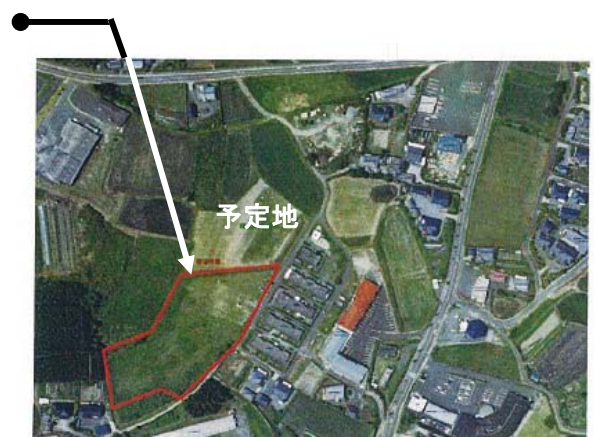
グリーン・コミュニティの実現を目指し、国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社(コード: 3751、本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 呉 文 繡、以下「日本アジアグループ」)と鹿児島県鹿屋市(嶋田芳博市長)は、このたび、太陽光発電所の開発に関し、基本合意に至りました。

鹿屋ソーラーウェイは、出力0.5MW(500kW)、一般家庭の約150世帯※1に相当する規模の太陽光発電所になり、日本アジアグループにおいて、群馬県館林市における館林ソーラーパークに続き2案件目のハーフメガ(0.5MW)の開発となります。ハーフメガ規模の太陽光発電所は、住宅地に隣接した環境でも開発が可能のため、遊休地の有効的な活用手法として着目されています。総事業費は約1.5億円の見込みです。

日本アジアグループは再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもとメガソーラー発電所の開発に向け、これまでの実績により培った技術とノウハウを活用し、地域特性にあわせた太陽光発電所の開発を行うとともに、地域住民の方々と本施設を活用した地域づくり、まちづくりへの取り組みを進めてまいります。

■ 鹿屋ソーラーウェイ開発計画概要

発 電 所 名 称	鹿屋ソーラーウェイ
立 地 場 所	鹿児島県鹿屋市輝北町
現 況	工業団地
立 地 面 積	7,820 m ²
出 力	0.5MW
着 工 時 期	未定
竣 工 時 期	未定
パ ネ ル メ ー カ ー	国産パネルを予定



※1 標準家庭の消費電力を年間3,480kWh(290kWh/月)として計算

【日本アジアグループについて】

日本アジアグループ株式会社は、2012年4月1日に国際航業ホールディングス株式会社を完全子会社化し、新たな体制へと移行しました。

生活や経済活動を支える新たな社会インフラとしての空間情報の整備・構築、利活用を提供する「空間情報コンサルティング事業」、低炭素で防災機能を強化したエコタウン開発を推進し、環境価値の創出と資産価値の向上を実現する「グリーンプロパティ事業」、自然エネルギーの普及を後押しする太陽光発電所開発を企画から資金調達・建設・管理運営まで一貫して行う「グリーンエネルギー事業」の3つの技術サービスと、産業と社会の発展に資本を供給する「ファイナンシャルサービス事業」が緊密に連携・サポートすることで、国内からアジア、海外まで幅広く事業を展開しています。

日本アジアグループは、日本と世界の確かな未来のために、人と地球に優しいまちづくり「グリーン・コミュニティ」の実現を目指しています。

- 【名 称】 日本アジアグループ株式会社(持株会社)
- 【上 場 市 場】 東京証券取引所マザーズ(コード:3751)
- 【本社所在地】 〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目3番2号
- 【資 本 金】 38 億円
- 【従 業 員 数】 2,754 人(連結)(2012 年 4 月末現在)
- 【子 会 社 数】 69 社(2012 年 4 月末現在)

<参考>

日本アジアグループでは再生可能エネルギー全量買取制度に伴い、下記案件に着手しております。

No.	発電所名称	発電規模	スケジュール
1	宮崎ソーラーウェイ 都農第1発電所	0.05MW	2010年3月竣工
2	宮崎ソーラーウェイ 都農第2発電所	1.0MW	2011年3月竣工
3	館林ソーラーパーク	0.5MW	2011年9月竣工
4	坂出ソーラーウェイ	2MW	2012年10月初旬竣工予定
5	北海道釧路星が浦ソーラーウェイ	2MW	2012年9月着工
6	北海道釧路音別ソーラーウェイ	1MW	2012年9月着工
7	北海道中札内ソーラーウェイ	2MW	2012年9月着工
8	北海道幕別ソーラーウェイ	1MW	2012年9月着工
9	北海道本別ソーラーウェイ	1MW	2012年9月着工
10	響灘ソーラーウェイ	2MW	2012年11月着工予定
11	仮)岡山浅口太陽光発電所	2MW	2012年12月着工予定
12	仮)熊本上天草太陽光発電所	1MW	2012年12月着工予定
13	鹿屋ソーラーウェイ	0.5MW	未定
14	仮)尾道市高須町太陽光発電所	0.6MW	未定
	合計	16.65MW	

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社

経営企画本部コーポレート・コミュニケーション部 : 鈴木

TEL: 03-3288-5704 e-mail: press@japanasiagroup.jp URL: <http://www.japanasiagroup.jp/>